

白山友正 しらかばともまさ 歌人。明治二十四年九月二十一日北海道生れ、昭和五十一年一月二十二日歿（一九〇一―七七）。小樽高等商業學校卒。教員。大正九年白石の花短歌會を興し、歌誌『百合の花』發刊。のち『伐木』と改題、更に昭和七年『短歌紀元』と改稱して同年結成の日本新體短歌聯盟の機關誌として主宰。

著書、年刊歌集『新短歌・一九三七年』（合著・新短歌クラブ編、昭和十一年十一月十日第一書房）、『北海道文學史』（昭和二十六年一月一日函館・短歌紀元社『短歌紀元』第二十一巻第ニ號）『短歌紀元叢書』（、『郷土昔話』（合著・NHK函館放送局編、昭和二十九年八月二十一日函館・函館郷土文化会）、『北海道事始め』（合著・NHK札幌中央放送局編、昭和二十一年二月二十日札幌・榆書房）等。